Vol. 3 5 (2018年10月29日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会 長野市大字南長野字宮東 452-1 長野県土地改良会館別館 3 階 会 長 赤羽 昭彦



秋も深まってまいりましたが、皆様におかれましては健やかにお過ごしの ことと存じます。

さて、今回の協議会だよりでは、平成 30 年度新規組織・継続組織事務研修会の報告と北安曇郡松川村の活動組織の取組のご紹介をいたします。





事務研修会

平成 30 年度新規・継続活動組織と市町村の皆様を支援するため、県下 13 会場で延べ 900 人の出席をいただき事務研修会を開催しました。

月・日	会 場	時間	活動組織	市町村	地域振興局	計
			人数①	人数②	人数③	1)+2)+3)
7/27(金)	松本市公設地方卸売	継続 10:00~12:00	41	6	2	49
	市場	継続 13:30~15:30	71	5	2	78
7/31(火)	諏訪文化センター	継続 13:30~15:30	43	4	1	48
8/1(水)	伊那合同庁舎	新規 10:30~12:00	3	4	1	8
		継続 13:30~15:30	85	1	2	88
8/2(木)	木曽合同庁舎	継続 10:00~12:00	3	4	2	9
	南木曽町役場	継続 13:30~15:30	35	3	3	41
8/22(水)	飯田合同庁舎	新•継 13:30~15:30	39	12	1	52
8/23(木)	安曇野市役所	新規 10:30~12:00	13	2	2	17
	大町合同庁舎	継続 13:30~15:30	78	4	1	83
8/27(月)	長野土地改良会館	新規 10:30~12:00	7		1	8
	長野合同庁舎	継続 10:00~12:00	58	6	2	66
		継続 13:30~15:30	96	2	2	100
8/29(水)	北信合同庁舎	新規 10:30~12:00	9	1	1	11
		継続 13:30~15:30	76	5	1	82
8/30(木)	上田合同庁舎	継続 13:30~15:30	98	4	1	103

8/31(金)	佐久合同庁舎	新規 10:30~12:00	14	4	1	19
		継続 13:30~15:30	38	6	1	45
合 計			807	73	27	907

≪ 研修会内容≫

- 1) 新規組織研修会:「活動の手引き」を使い、事業概要等基本的事項について
- 2) 継続組織研修会:地域資源保全管理構想の作成等活動に取組む上でのポイントについて



7/27 松本(継続) 松本市公設地方卸売市場



7/31 諏訪市(継続) 諏訪市文化センター



8/1 伊那市(新規) 伊那合同庁舎



8/1 伊那市(継続) 伊那合同庁舎



8/2 南木曽町(継続) 南木曽町役場



8/22 飯田市(新規·継続) 飯田合同庁舎



8/23 安曇野市(新規) 安曇野市役所



8/23 大町市(継続) 大町合同庁舎



8/27 長野市(新規) 土地改良会館



8/27 長野市(継続) 長野合同庁舎



8/29 中野市(新規) 北信合同庁舎



8/29 中野市(継続) 北信合同庁舎



8/30 上田市(新規) 上田合同庁舎



8/30 上田市(継続) 上田合同庁舎



8/31 佐久市(新規) 佐久合同庁舎



8/31 佐久市(継続) 佐久合同庁舎

Y 活動組織紹介

前回は、「組織の広域化について」と題して、県内の広域組織の現状や広域化のメリットなどを紹介しました。

今回は、広域組織の中から松川村の『松川村すずむしの里保全組織』を紹介します。

1.松川村の概況

松川村は、北アルプスを源とする高瀬川・乳川・芦間川・中房川の沿岸に広がる穀倉地帯で約1万人が暮らす優れた景観を有する農村です。全面積47kmのうち約25%を農地が占めており、稲作を中心に農業が盛んな地域です。

また、長寿の村としても全国的に知られ、元気な高齢者の暮らしぶりや長寿食などが度々メディアで紹介され、高齢化社会に対応した福祉の充実や村民の生活環境整備に力を入れるなど、人に優しい村づくりを進めています。

2. 広域化の経緯

松川村では、平成 19 年度旧制度の発足時に 10 組織が活動を開始し、その後活動組織は倍の 19 組織に増加しましたが、制度が平成 26 年度に「多面的機能支払交付金制度」に移行し、取組内容も拡大するなか各組織とも事務処理等の負担増大が課題となってきました。

そこで、事務処理の効率化などを図るため、組織の広域 化を進めました。

広域化を進めるに当っての課題は、参加組織の同意形成や事務局体制、事務局経費などがありました。

この課題に対して、村が中心となり各組織と連携して対 策を検討しました。

組織の参加同意は、組織の今までの活動を尊重し、広 ^{(参}域化後に統一できるものは進めていくという方針で合意形 **(**_____

【地区データ】

• 取組面積 852ha (田)

74ha (畑地)

926ha (合計)

· 対象施設 開水路 150.2km

管水路 0.7km

農 道 95.9km

· 交付金 約 2, 960 万円

(維持、共同、長寿命化)

· 広域化 平成 28 年度

(参加組織数 20組織)

成を図りましたが、松川村は明治 22 年に村発足以降、一貫して共同体として協力し合ってきた土地柄もあって、全組織が参加して村全域をカバーする広域化を実現しました。

また、一番の課題であった広域事務局の体制と経費については、「地域おこし協力隊」を事務局員として村が雇用することで、人材確保と事務局経費の課題が両方とも解決し、参加組織は今まで通り交付金を活用し事務も軽減されることとなりました。



3. 広域組織の活動

現在の広域組織は、19 の集落単位の組織に高瀬川右岸土地改良区を加えた 20 団体で運営委員会を組織し、毎年の事業計画を決定して運営しています。

農地維持活動は、従来各組織が行ってきた草刈や土砂上げを組織ごとに行い、日当等の支払も組織ごとに行っています。

資源向上の共同活動も、農地維持活動と同様に各組織に従来通りの交付金を交付して、組織ごと に活動に応じて支出しています。

資源向上の長寿命化は、各組織実施個所を計画して総会で調整決定し、事務局で一括発注から支払いまでの事務を行うため、各組織の事務負担軽減になりました。

また、事務処理は、各組織が活動計画、作業日報などの作成取りまとめを行い、役場への交付申請や実績報告などの書類は事務局で一括して作成することで事務の軽減を図りました。







水路の補修状況(細野地区)



4・今後の展望

松川村すずむしの里保全組織は広域化して 3 年目となり、今後も活動をより効率的に行い、役員の負担軽減や各組織間のバランスをとった連携強化を図っていくことを目指しています。

そのためにも、各組織の特色を残したうえで、柔軟な活動を行えるルール作りも行っていくこととしています。

また、地域おこし協力隊の任期が本年度で終了することから、事務局体制の再構築や事務局経費の検討が必要となってきますが、美しい農村景観を維持保全しつつ、長寿の村として多面的機能支払交付金をより有効に活用していくことが重要なことと考えます。



イ 今後の予定

≪技術研修会≫

〇研修内容・講義のテーマ:「コンクリート開水路の変状と簡易補修対策」

○実践研修 ・現地での目地補修実演(業者による)

【上田会場】

日 時 11月8日(木) 13:00~15:00

場 所 塩田地域自治センター 上田市中野 20番地

【大町会場】

日 時 11月9日(金) 午前の部 10:00~12:00

午後の部 13:00~15:00

(※各部の研修内容は同じです。)

場 所 花見基幹センター 大町市平 1040 番地 832

≪技術研修会≫

〇研修内容・講義テーマ:「鳥獣害防護柵の管理・補修等について」

〇現地研修 ・西山維持保全管理組合の鳥獣害防護柵

日 時 11月22日(木) 13:00~15:00

場 所 木曽郡木祖村(村民センター)木曽郡木祖村大字薮原 196 番地

事務局から

今回は新規・継続組織を対象にした事務研修会の様子と活動組織の紹介を行いました。

今後も研修会の報告と皆様の活動の役に立つ情報 を掲載しますのでよろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

(担当:田中・白石)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

E メール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL http://www.nagano-nouchimizu.net/